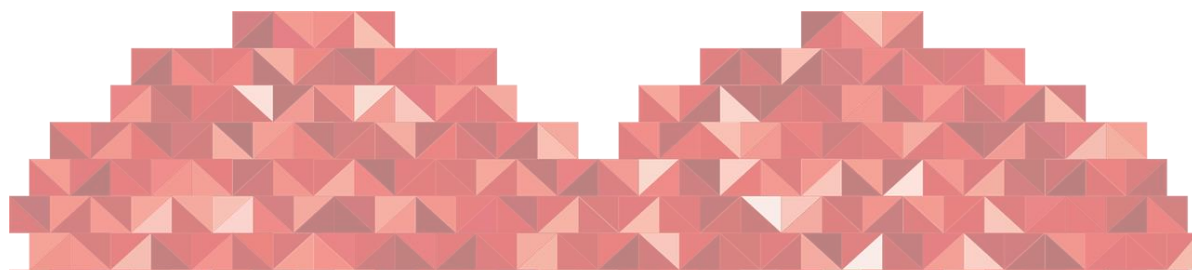
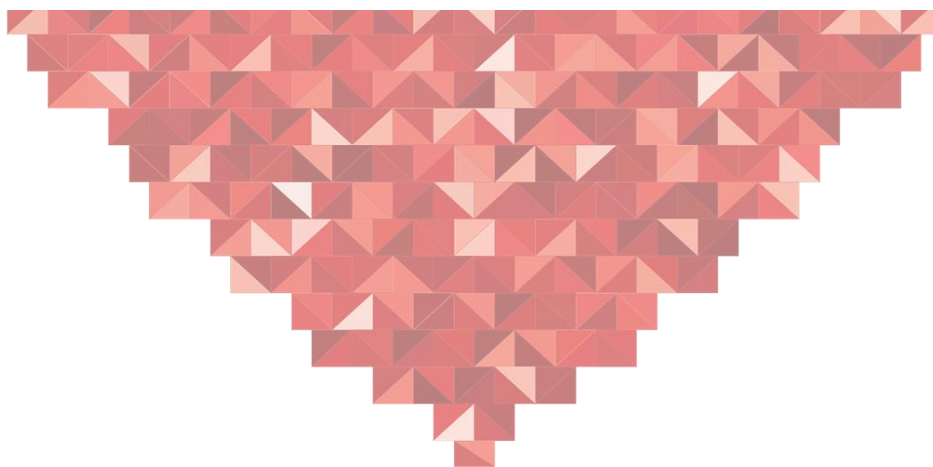


賛同団体向け



みんなで作ろう、これからの医療

with Heart プロジェクト 2023-24

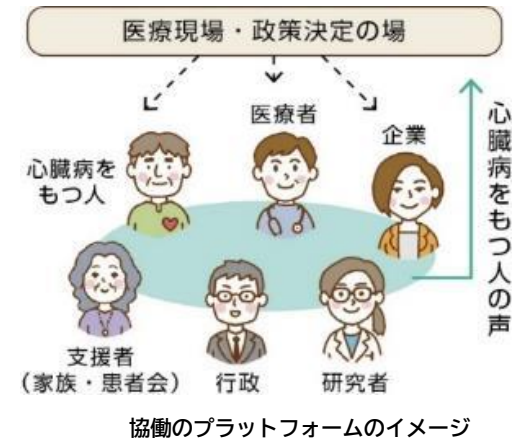


一般社団法人ピーパック
with Heartプロジェクト事務局

プロジェクト概要

プロジェクト詳細はPg. 5～

心臓病をもつ人、患者会(支援者)、医療者、企業など、あらゆる人が集まり、共に学び・話し合いながら「心臓病があっても大丈夫」と言える社会に向けた、アクションプランを描くプロジェクトです。



「病気があっても大丈夫と言える社会」の実現に向け、あらゆる人が立場を超えてこれからの医療を一緒に考え、創っていく「みんなで作ろう、これからの医療プロジェクト」のビジョンのもと、**心臓病に特化したプロジェクト**(一般社団法人米国医療機器・IVD工業会 (AMDD)後援)として、2020年11月よりスタートしました。


- 主催** 一般社団法人ピーパック
- 後援** 一般社団法人 米国医療機器・IVD工業会、一般社団法人日本循環器協会、公益財団法人日本心臓財団
- 賛同団体** 一般社団法人心臓弁膜症ネットワーク、一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会、特定非営利活動法人日本ICDの会、非営利活動法人日本マルファン協会、特定非営利活動法人ハートキッズ・ジャパン、特定非営利活動法人ハート・プラスの会、Living With Heart

賛同団体概要

◆ 賛同団体特典

本プロジェクトの趣旨に賛同いただける、心臓病に関係する団体(患者会や活動団体など)を募集しています。賛同団体に以下の特典をご用意しました。

- ① イベント開催時に団体紹介ができます
 - ② 本プロジェクトホームページ(<https://ppecc.net/>)を活用できます
 - ・ 団体名称・ロゴ・ホームページのリンクを掲載します
 - ・ 団体のイベント情報等を掲載できます
 - ③ プロジェクトメンバーへ団体のイベント情報等を配信します
 - ④ 報告書、広報物等へ賛同団体の名称を記載します
 - ⑤ プロジェクトの情報をメールにてお送りします
- 【その他】
- ・ 個別にプロジェクト活動へご協力をお願いする場合があります
 - ・ プロジェクト情報を会員様にお伝えいただくことで、会員の育成にもつながります



心臓病に関係する団体(患者会・活動団体)のPR活動に協力し、団体の活動をより活性化させることが期待でき、また賛同団体同士がお互いに知り合い、つながることで協働の機会がうまれます。

◆ 賛同団体の参加条件

- 本プロジェクトの趣旨を理解し、賛同すること
- 心臓病に関する活動を行う団体であること

心臓病に関する患者会だけではなく、心臓病に関する活動を行う任意団体(法人格のない団体)なども賛同団体に登録できます。

- 以下の条件を満たすこと

個人、株式会社等の営利団体ではない

政治、宗教に関する活動を行っていない

反社会的勢力に該当または反社会的勢力と関係を有していない

公序良俗に反するなど著しく不誠実な行為を行っていない

- メールを受送信ができること

連絡はすべてメールでの案内になります。郵送・FAX等での連絡の代替は行っていません。

◆ 賛同団体の登録方法

「賛同団体申込書」に必要事項をご記入の上、プロジェクト事務局までメールにてお送りください。申込書は、[こちら](#)よりダウンロードできます。ご不明な点等がありましたら、お気軽にお問合せください。

● 申込書送付先 ▶ with Heartプロジェクト事務局：withheart@ppecc.jp



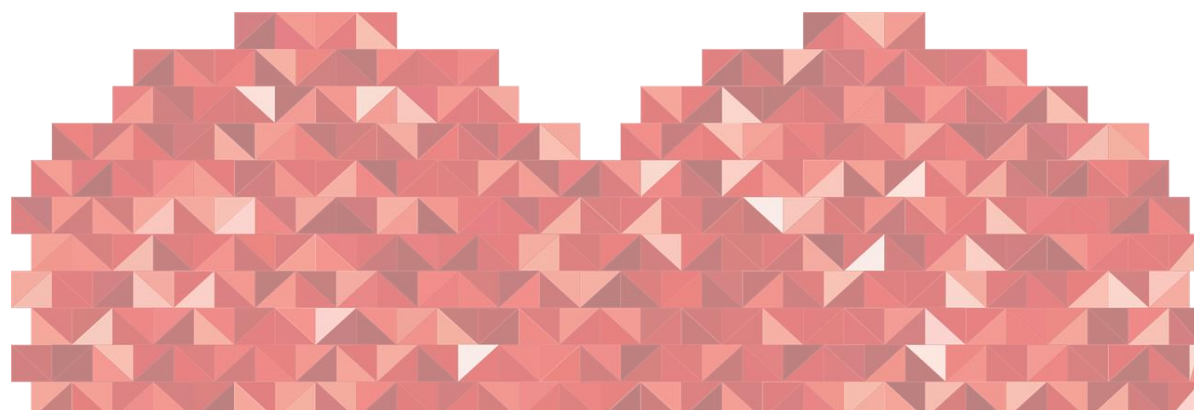
みんなで作ろう、これからの医療

with Heart プロジェクト

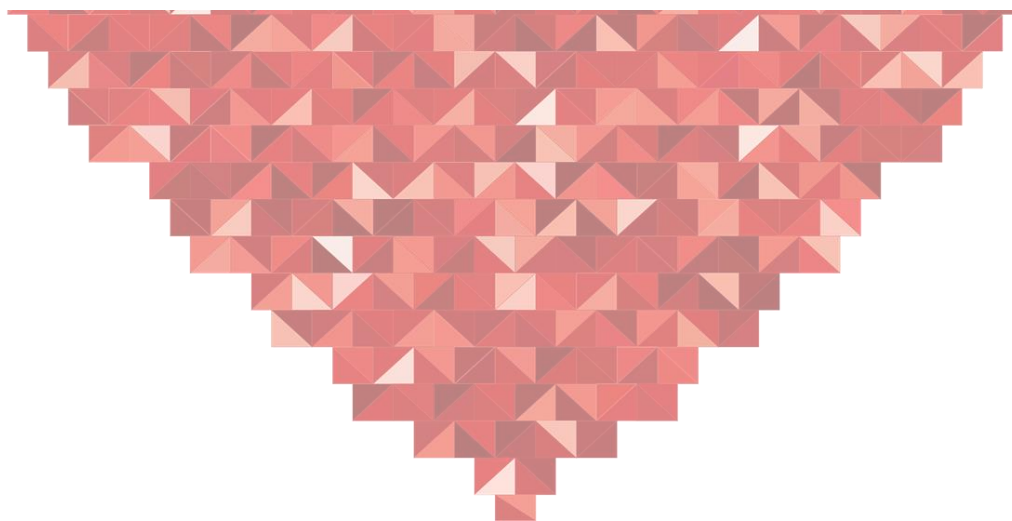
プロジェクト詳細

目次

- **with Heart プロジェクトとは**
 - プロジェクトの背景
 - プロジェクトが目指すもの
 - プロジェクトの軌跡
- **with Heart プロジェクト 2023-24 コンセプト**
 - プロジェクト2023-24の目標
 - 企画概要および各企画紹介
 - 企画の期待効果
- **with Heart プロジェクト 2023-24 実施概要**
 - 参加者・団体
 - 参加方法/内容
 - スケジュール



with Heart プロジェクトとは



with Heartプロジェクトの背景

互いに話したいことがあるのに、 医療にかかわる人同士は、つながっていない状況

- 自分の思いや希望を誰にどう伝えるべきか分からない
- 他の当事者はどうしているのか知りたい
- 自分が使う製品がどういうものか知りたい



医療従事者



心臓病をもつ人



企業、研究者、
行政、その他

- 病気や予防、治療について知って欲しいが、その方法がわからない
- 具体的な療養生活の様子がわからない

- 心臓病をもつ人の思いや意見を知りたい
- 治療や日々の生活にどんな課題があるか聞いてみたい

近年、医療現場や
政策決定の場では、
病気をもつ人のこえが
求められている

心臓疾患領域は
治療経過が様々で課題や
ニーズも多種多様なため、
こえがまとまりにくい

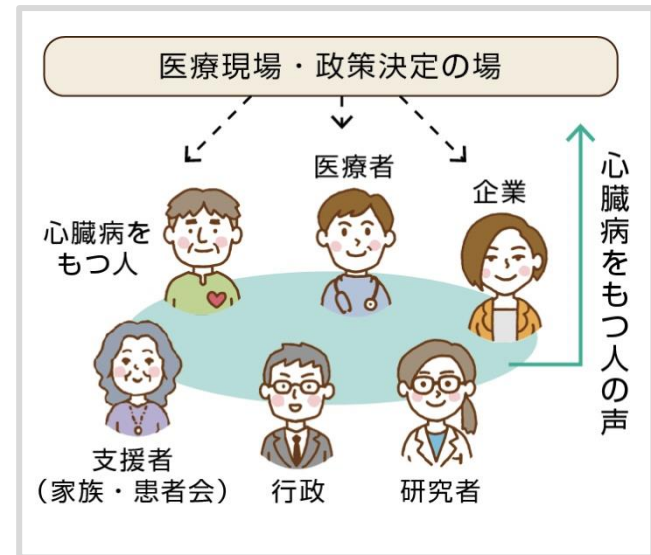
心臓病をもつ人の
こえ(課題やニーズ)が、
医療環境づくりの場に
十分に届いていない

with Heartプロジェクトが目指すもの

心臓病をもつ人のこえを医療現場や政策決定の場に届け、
より良い医療環境をともに創る

活動の柱

- ① こえを届けるため、心臓病にかかわる様々なステークホルダーが集まる協働プラットフォームを構築する
- ② プラットフォーム運営・発展のため、活動の中核を担う”心臓病をもつ人”を発掘し、多様な心臓病の社会課題を理解する人を育成する



協働プラットフォームのイメージ

プロジェクトの軌跡 (2021~2023-24)

with Heart プロジェクト 2023-24

テーマ

こえを集めて、届ける基盤をつくる

心臓病をもつ当事者のこえだけでなく、心臓病に関心がある幅広い層の小さなこえも拾い上げ、心臓病にかかわるステークホルダーで共有し、届けるべきこえを検討する

with Heart プロジェクト 2022

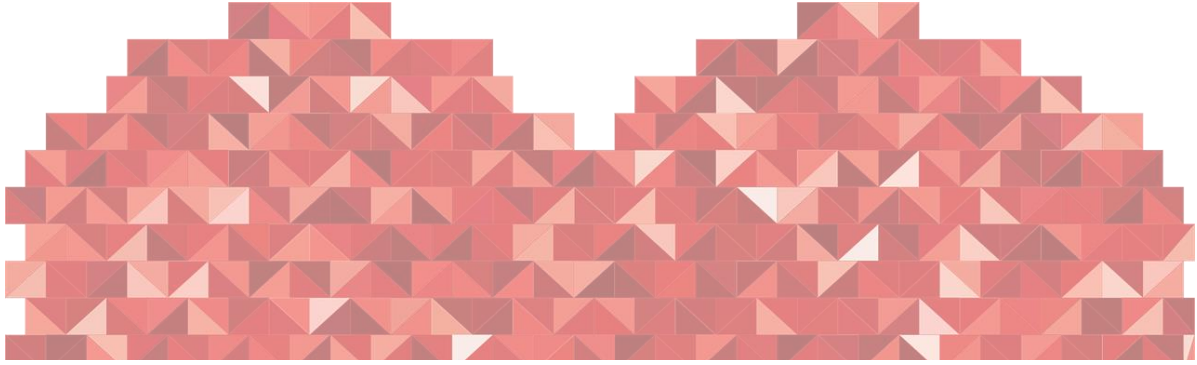
テーマ

仲間を増やし、つながれる仕組みをつくる

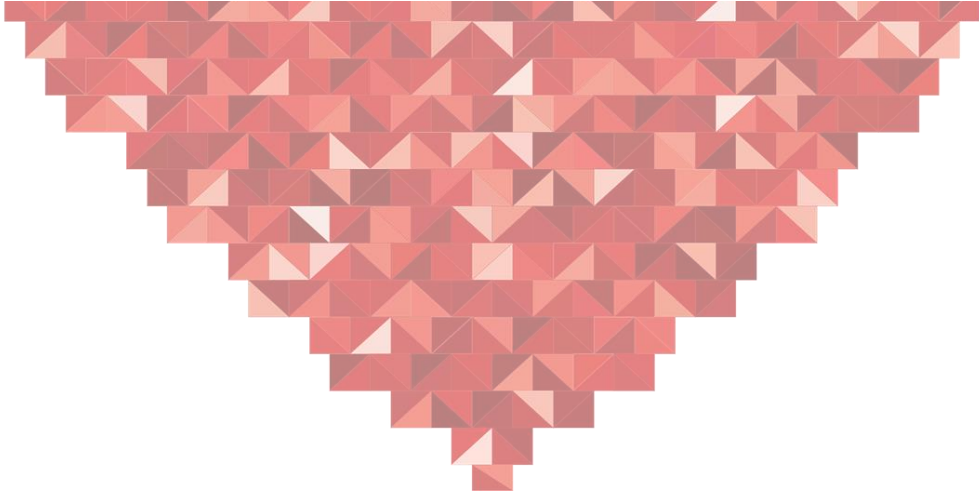
with Heart プロジェクト 2021

テーマ

心臓病をもつ人と企業の距離を縮める



with Heart プロジェクト 2023-24
コンセプト



わたし(個人)の課題⇒みんな(心臓病全体)の課題



こえの
すそ野が
広がる

散在していた
こえが
集まる

集まった
こえが
まとまる

まとめた
こえが
届く・広がる



with Heart プロジェクト 2023-24

こえを集めて、届ける基盤をつくる



こえの
すそ野が
広がらない

こえが
散在して
集まらない

こえを
集めても
まとまらない

こえを
まとめても
届かない





わたし(個人)の課題⇒みんな(心臓病全体)の課題

こえの
すそ野が
広がる

散在していた
こえが
集まる

集まった
こえが
まとまる

まとめた
こえが
届く・広がる



① Heartアンバサダーの活躍推進

② LINE公式アカウントの開設・運営

③ Heartライブラリー構築

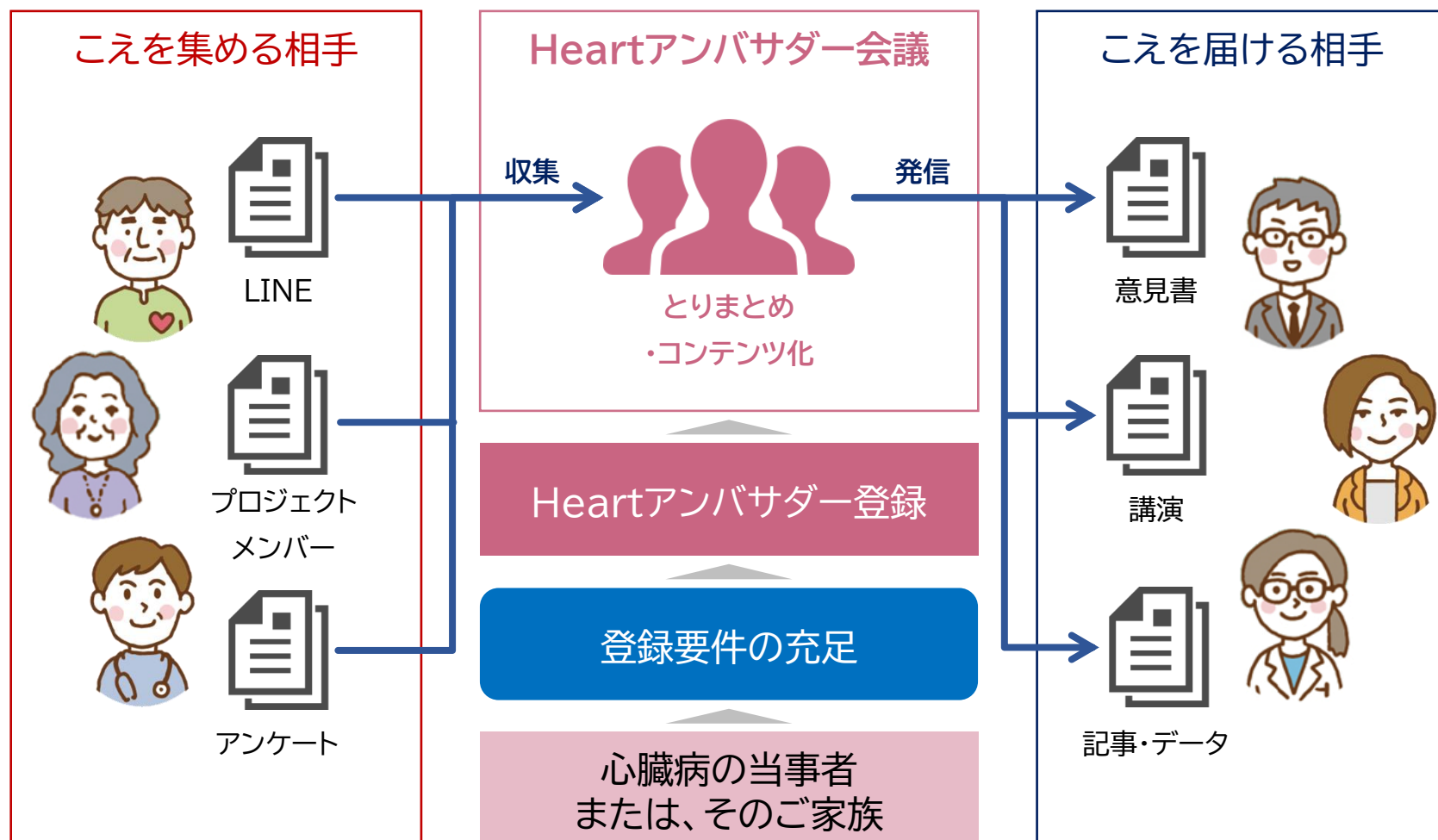
④ 健康経営企業へのアプローチ

⑤ 活動報告会・定例会議の開催

① Heartアンバサダーの活躍推進

with Heartプロジェクト2023-24

企画全般の遂行や、こえのとりまとめ・意見書作成を行うチームとして、Heartアンバサダーを中心とした会議体を組成し、リーダーの育成・活躍を促進します。



心臓病全体の課題解決に向け、 積極的な活動を希望する当事者/ご家族

- 要件を満たすと修了証受領
- コミットメントに応じてステップアップ
- Heartアンバサダーリストに登録(希望者)



心臓病に関わるステークホルダー(企業・医療者・行政等)と協働したり、
さまざまな場面で活躍できるようになることを目指す

- ☞ 講演(社内研修、市民公開講座等)
- ☞ 会報誌や社内報などへの執筆
- ☞ 患者向け資材への意見だし
- ☞ アドボカシー活動への参加 など

※ 協賛企業はHeartアンバサダーリスト登録者へ打診可能

Heartアンバサダーが活躍できる機会＝協働の機会が生まれ、
ステークホルダーとの協働を通じて成長

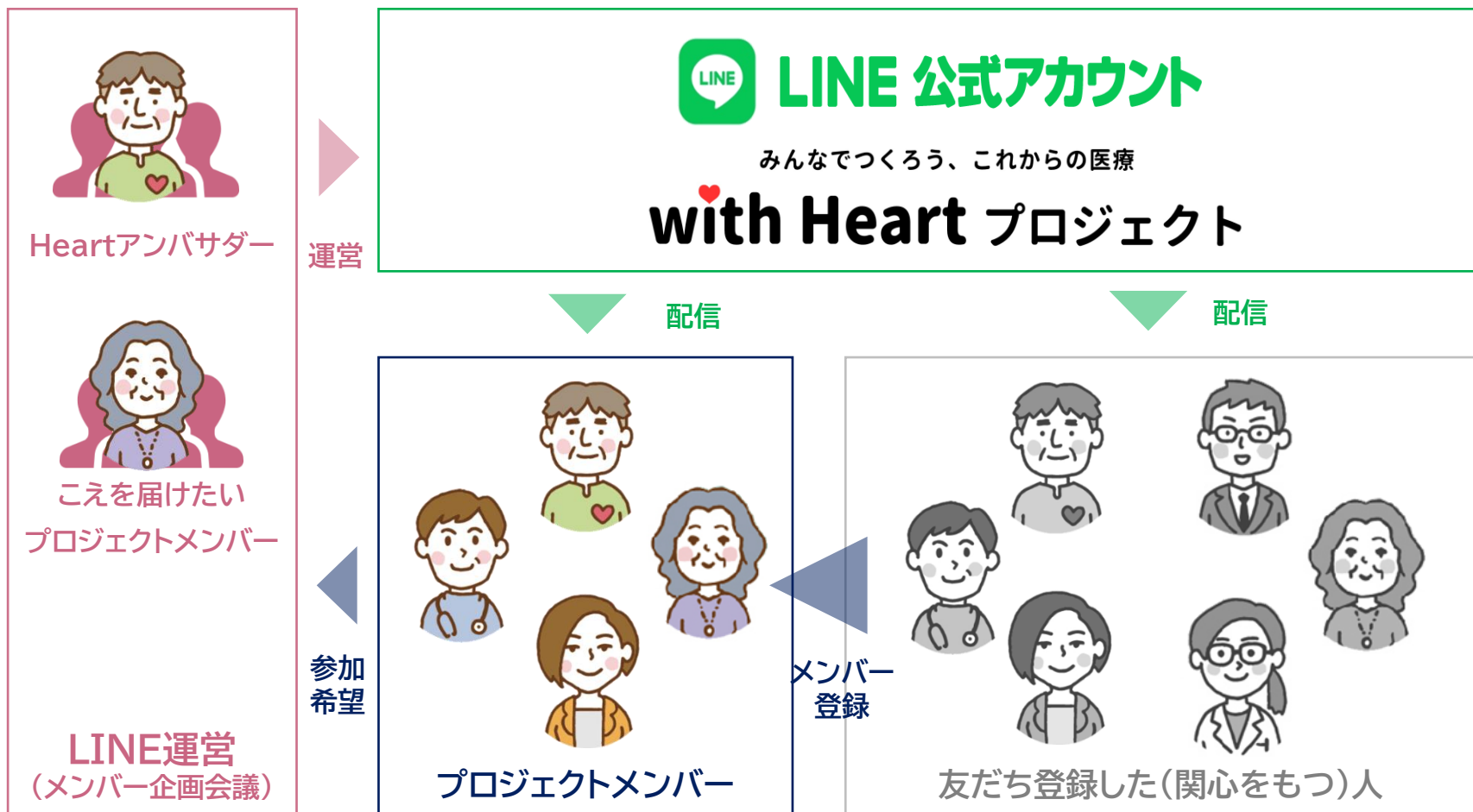
協働が進み、Heartアンバサダー各々が研鑽を積むことで、
将来的に心臓病をもつリーダー達※に成長

※心臓病をもつ人のこえ(心臓病全体の課題や意見)を、プロジェクトに留まらず、
医療環境づくりの場(医療現場・企業・行政等)に届けられる人々

② LINE公式アカウントの開設・運営

with Heartプロジェクト2023-24

心臓病の情報や当事者のこえに触れる場・発信する場として、LINE公式アカウントを開設し、参加者のすそ野拡大に向けた基盤とします。



③ Heartライブラリー構築

with Heartプロジェクト2023-24

プロジェクト専用Webサイトに、心臓病についての情報発信ページ(Heartライブラリー)を構築し、プロジェクト認知度向上・LINE友だち獲得を実現します。



Heart ライブラリー



- 健康診断結果・心電図等の見方
- 心臓病を連想しうる症状・要注意な兆候
- 罹患者数、罹患者率、年代、発症率などのデータ
- 心臓病の予防、対策、運動
- 心臓病の治療や手術に関連する機器や術式の紹介など

情報
発信



プロジェクトに
参加していない
人たち

④ 健康経営企業へのアプローチ

with Heartプロジェクト2023-24

健康経営企業に、誰にとっても身近で重要な心臓病についての情報提供を提案し、LINE参加者数の増加やプロジェクト認知度の向上を行います。



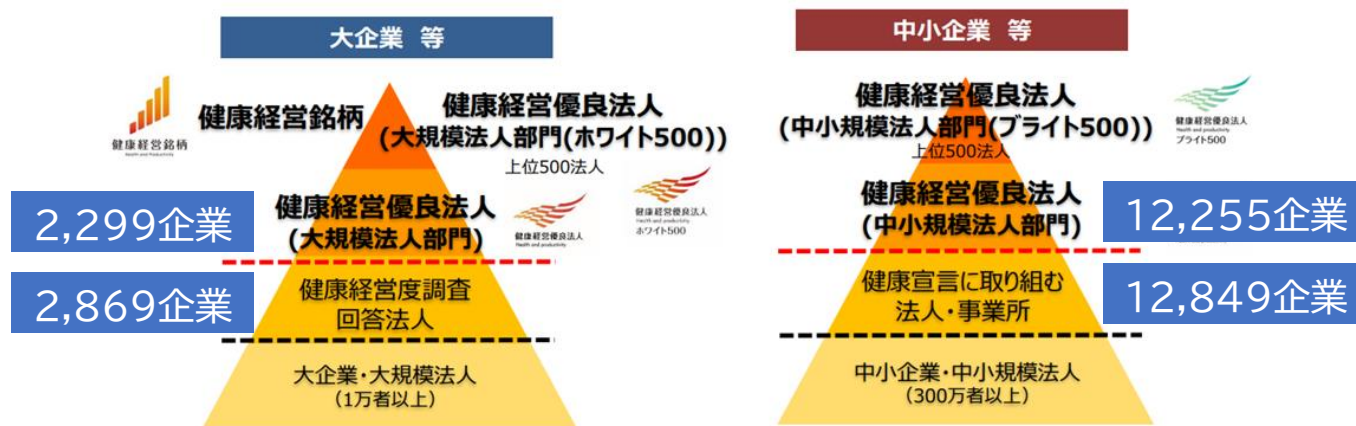
心臓病にかかわるステークホルダー以外にも広くプロジェクトが認知される

健康経営とは

- 従業員等の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えの下、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること
- 企業が経営理念に基づき、従業員の健康保持・増進に取り組むことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や組織としての価値向上へ繋がることが期待される

健康経営優良法人認定企業数

- 健康経営優良法人2022認定数は、大企業2,299企業、中小企業12,255企業にのぼる



健康経営優良法人の認定要件

大項目	中項目	小項目	評価項目	認定要件	
1. 経営理念・方針				健康宣言の社内外への発信・経営者自身の健診受診	必須
2. 組織体制				健康づくり担当者の設置 (求めに応じて)40歳以上の従業員の健康診断のデータの提供	必須
3. 制度・施策実行	従業員の健康課題の把握と必要な対策の検討	健康課題に基づいた具体的な目標の設定	健康経営の具体的な推進計画	左記①～③のうち2項目以上	
		健診・検診等の活用・推進	①従業員の健康診断の実施(受診率実質100%) ②受診勧奨に関する取り組み ③50人未満の事業場におけるストレスチェックの実施		
		ヘルスリテラシーの向上	④管理職・従業員への教育		
	健康経営の実践に向けた土台づくり	ワークライフバランスの推進	⑤適切な働き方の実現に向けた取り組み	左記④～⑥のうち1項目以上	
		職場の活性化	⑥コミュニケーションの促進に向けた取り組み		
		病気の治療と仕事の両立支援	⑦私病等に関する両立支援の取り組み		
	従業員の心と身体の健康づくりに関する具体的な対策	保健指導	⑧保健指導の実施または特定保健指導実施機会の提供に関する取り組み	プライト500は左記①～⑥のうち13項目以上	
		具体的な健康保持・増進施策	⑨食生活の改善に向けた取り組み		
			⑩運動機会の増進に向けた取り組み		
			⑪女性の健康保持・増進に向けた取り組み		
⑫長時間労働者への対応に関する取り組み					
⑬メンタルヘルス不調者への対応に関する取り組み					
感染症予防対策	⑭感染症予防に関する取り組み				
喫煙対策	⑮喫煙率低下に向けた取り組み	必須			
	受動喫煙対策に関する取り組み				
4. 評価・改善				健康経営の取り組みに対する評価・改善	必須
5. 法令遵守・リスクマネジメント				定期健診を実施していること、50人以上の事業場においてストレスチェックを実施していること、労働基準法または労働安全衛生法に係る違反により送検されていないこと、等	必須

- ✓ 健康経営の実践には、従業員一人ひとりの行動を促す事が重要
- ✓ そのために、ヘルスリテラシーの向上、食生活や運動機会などの具体的な行動に向けた取組みが、認定項目の要件に挙げられている
- ✓ 具体的な事例においても、従業員への情報提供がみられる

<参考> 具体的な取組み事例

大垣
タクシー(株)
岐阜県大垣市

- 毎月1回の給与支給日に全従業員へ配布している健康経営に関する情報提供において3カ月に1度は食生活に関する情報を掲載し、食べ物への関心を仰ぎ、食生活習慣を改善するきっかけにする。
- 外部機関提供の食事・栄養管理支援アプリを従業員に無償で配布し、食生活、食習慣の継続的な改善につなげる。

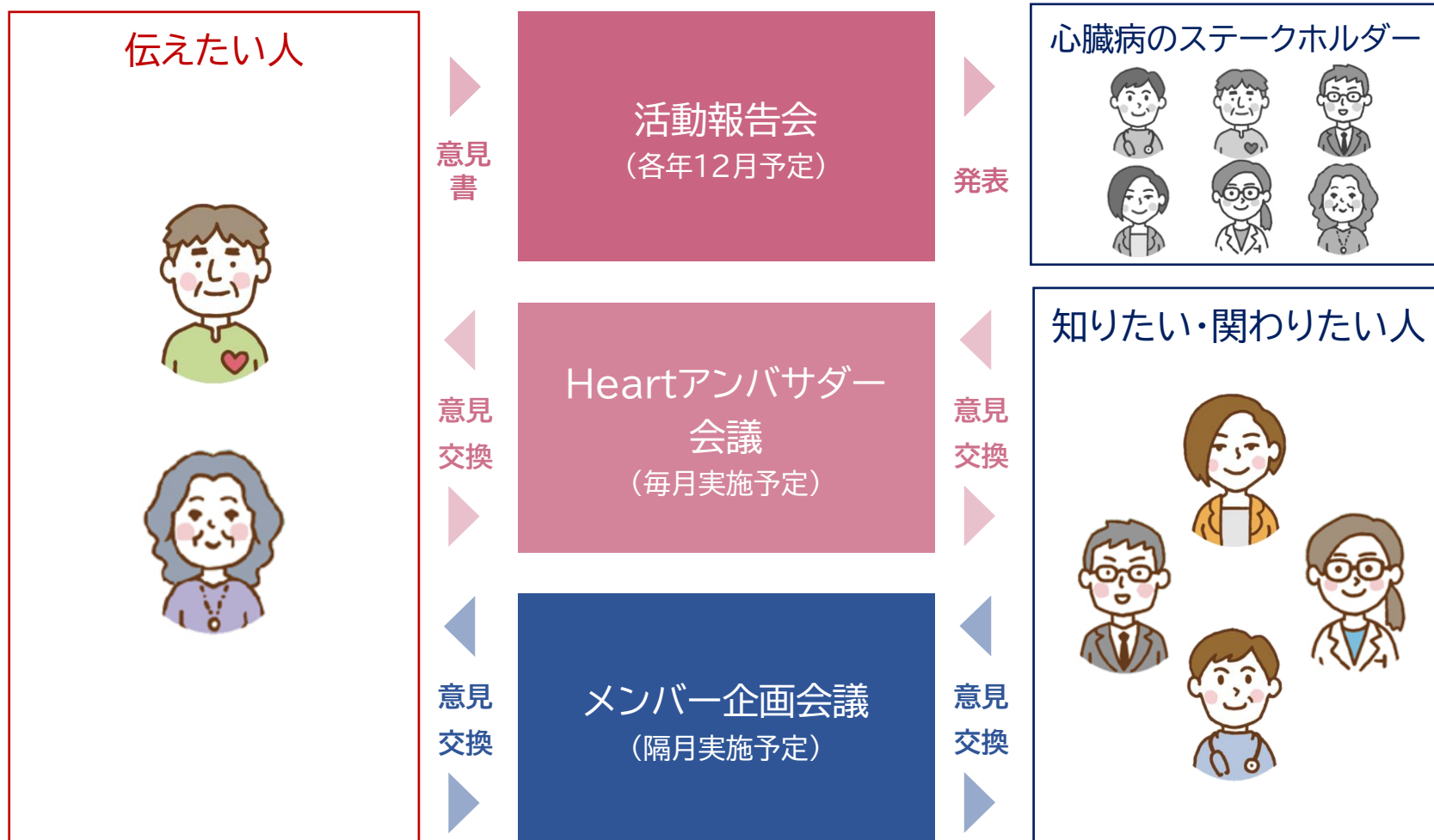
前出産業(株)
滋賀県
近江八幡市

- 健康に関する資料を、毎月の給与明細と一緒に配布。また健康に関する社内アンケートを実施し、その結果をもとに健康に関するアドバイスが収録されている動画(DVD)を視聴してもらい、健康意識の向上を図る。

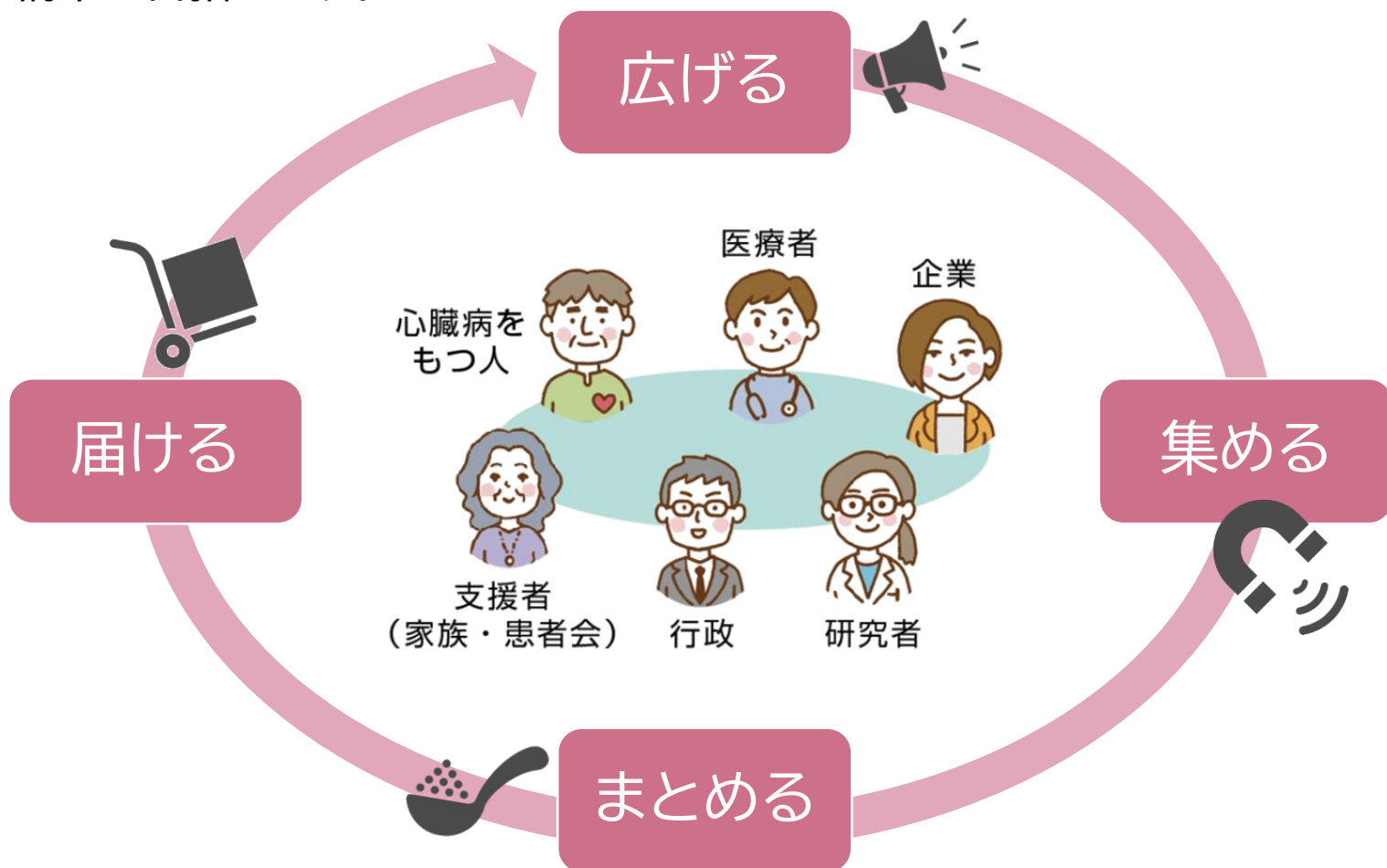
⑤ 活動報告会・定例会議開催

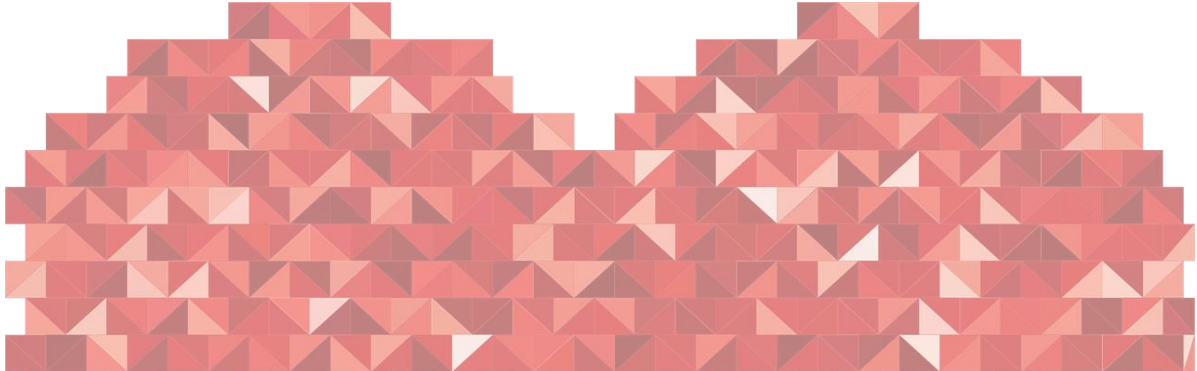
with Heartプロジェクト2023-24

活動報告会・定例会議を開催し、集めたこえをまとめた意見書の発表や、プロジェクトメンバー同士の意見交換ができる機会を提供します。

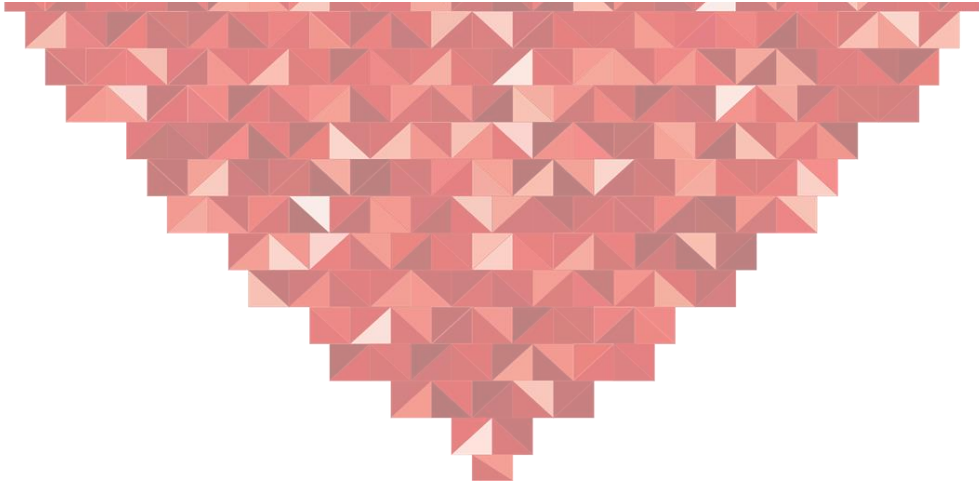


各企画を有機的に連携し「こえを集めて、届ける基盤」を実現することで、心臓病ステークホルダーの輪を強く・大きくするポジティブ・スパイラル構築を目指します。





with Heart プロジェクト 2023-24
実施概要



プロジェクトは、一般社団法人ピーパックが主催し、2023/01～2024/12の2年間にわたり、オンラインを中心に実施します。

主催 一般社団法人 ピーパック

後援 一般社団法人 米国医療機器・IVD工業(AMDD)
一般社団法人 日本循環器協会
公益財団法人 日本心臓財団

実施期間 2023年1月～2024年12月(2年間)

開催方法 オンライン
Zoomおよびビジネスチャットツールにてコミュニケーション

一般参加者やプロジェクトメンバーに加えて、協賛企業や賛同団体にも積極的にご参加いただきながらプロジェクトを遂行します。

一般参加者	関心ある方、誰でも(LINE友だち登録)
プロジェクトメンバー (個人)	メンバーとして登録した方 <ul style="list-style-type: none">心臓病をもつ人(当事者メンバー)家族、患者会等の支援者(サポートメンバー)その他関心ある方(一般メンバー)
協賛企業	協賛金を出資いただいた企業
賛同団体	患者会/患者支援団体
後援団体	一般社団法人米国医療機器・IVD工業(AMDD) 一般社団法人日本循環器協会 公益財団法人日本心臓財団

参加方法/内容

with Heartプロジェクト2023-24

各企画には誰でも柔軟な方法で参加が可能で、協賛企業・後援団体は、協賛種別や要望に応じて、全てに参加することも選んで参加することもできます。

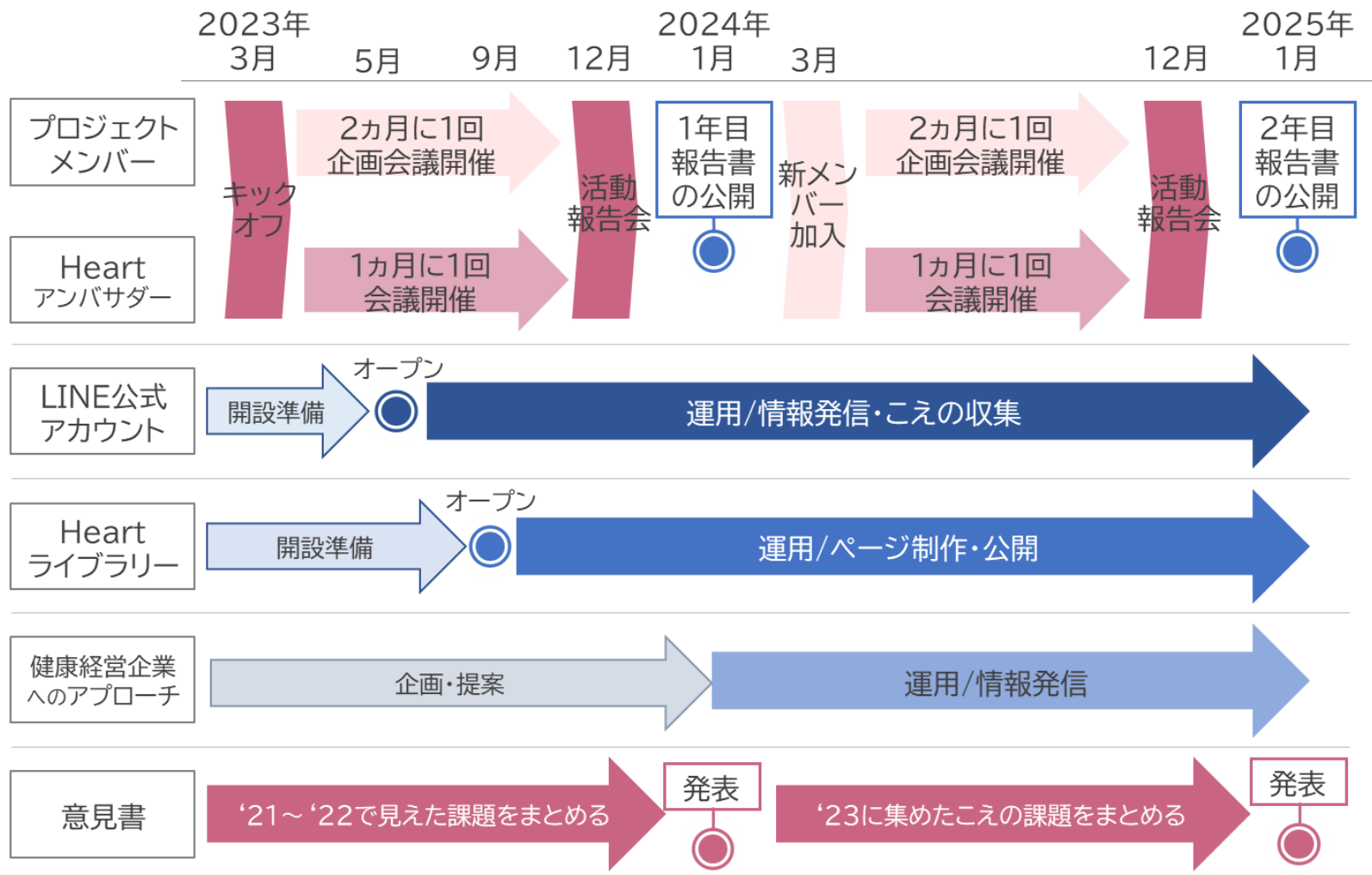
	心臓病に関心のある人	心臓病をもつ人・ご家族	
	誰でも可	登録	プロジェクトメンバー
		希望	Heartアンバサダー希望者
		成長	Heartアンバサダー
	・協賛企業 ・後援団体		
LINE公式アカウント	閲覧(LINEお友だち登録)		
Heartライブラリー	閲覧		
メンバー企画会議	<ul style="list-style-type: none"> LINE、Heartライブラリーでの発信内容の企画・制作 アンケート等、こえの収集実施 メンバー同士の情報・意見交換 		
Heartアンバサダー会議	<ul style="list-style-type: none"> Slackでのコミュニケーション 健康経営企業へのアプローチ 集まったこえを意見書にまとめる 意見書提出先の検討、等 		

全部または選んで参加

スケジュール

with Heartプロジェクト2023-24

1年毎の活動を通じて、運営会議、意見交換会、交流会等を適宜開催し、Heartアンバサダーを含むプロジェクトメンバー同士の交流を促進します。



「心臓病があっても大丈夫」と 言える社会の実現へ

心臓病のことについて、話し合い・発信することで、
みんなでこれからの心臓病を取り巻く医療を
つくっていきましょう
みなさまのご参加をお待ちしています



一般社団法人ピーベック
with Heartプロジェクト事務局

メール withheart@ppecc.jp

電話 03-6279-5669 (受付時間：平日10時～17時)

住所 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-33-1 サンライズプラザ501